

IPG Health Japan、 Campaign 「Japan/Korea Specialist Agency of the Year」 でゴールドを受賞

【2023年12月11日：東京発】

IPG Health Japan (アイピージーヘルスジャパン、本社：東京都港区、代表取締役社長：横川 淳二) は、アジア最大の広告・マーケティング誌 Campaign Asia Pacific(キャンペーン・アジアパシフィック)主催の「Agency of the Year (エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞)2023」において、「日本・韓国 スペシャリスト・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」のゴールドを受賞したことを発表しました。これにより、同エージェンシーは6年連続で同賞受賞を果たしました。

社長の横川は、「2023年はPOST-COVIDということもあり、市場環境の変化を予測することがとても難しい状況でした。そのような中、変化を恐れずに前進を続けてくれたみなさんを誇りに思います。また、クライアントのパートナーシップに心から感謝しています。」と話しています。



今年30周年を迎える Agency of the Year は、東南アジアの5つの地域ごとに、広告およびブランドコミュニケーションにおけるリーダーシップ、優れた経営、ビジネスパフォーマンス、総合的な業績を評価します。また各賞は、地域のメディア、広告、クリエイティブ、デジタル、PR、独立系、専門エージェンシー、ブランド・コミュニケーションにおける優れた業績と成功を称えるものです。

###

IPG Health Japan について

IPG Health Japan は、ヘルスケアコミュニケーションに関するフルサービスを提供する複数のエージェンシーブランドを傘下に、200名を超えるクリエイティブや各専門領域のエキスパートを擁し、クリエイティブ、戦略、ブランディング、メディカルライティング、コンサルティング、デジタルサポートなど幅広いサービスをヘルスケア領域におけるあらゆる分野のクライアントに提供しています。

この件に関するお問合せ先：

(株) マッキャン・ワールドグループ ホールディングス

コーポレート・コミュニケーションズ 大木 美代子

Tel: 03-3746-8550 (直通) e-mail: miyoko.ohki@mccannwg.com